

幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会 第1回新校区検討部会 議事録

日時 令和4年7月5日（火）18時00分～19時30分

会場 鉄南ふれあいセンターホール（3F）

出席者 （委員）

齊藤委員、赤坂委員、原委員、田中委員、岡崎委員、山田委員、鳴海委員、藤江委員、古田委員、村上委員、森委員、竹中委員、荒関委員、太田委員、伊清委員、柴田委員、猪子委員

（事務局）

堀井部長、中島参与、館下次長、近間総務 G 総括主幹、南雲総務 G 建築主幹、西川原学校教育 G 総括主幹、中井学校教育 G 学務主幹、蓬田総務 G 主査

○事務局 時間となりましたので、これより、幌別小学校と幌別東小学校の統合に関する学校統合委員会の第1回新校区検討部会を開催いたします。

本来は部会長が議事進行を行うところではありますが、部会の運営について説明するまでの間は、事務局で進行を行わせていただきます。

議事に入る前に、本日お集まりの皆さんをご紹介しますと思います。事務局から順番にお名前をご紹介しますと思います。その場で一礼いただければと思います。

それではご着席の順で紹介させていただきます。

（部会員を順次紹介）

○事務局 （委員紹介後）それではさっそくお配りした会議次第に基づき議事を進めさせていただきます。

会議次第2は「部会の運営について」です。去る5月20日に開催いたしま

した第1回学校統合委員会において、委員会の下に2つの部会を設け、この部会において具体的な協議を進めていくことが決定しました。

2つの部会のうち、この新校区検討部会においては、幌別東小学校で組み込まれてきた特色ある教育の取り扱いや統合前に行う児童同士の交流事業の内容など、幌別東小学校統合後の幌別小学校に関係する事柄について検討していくこととなります。このため、メンバーについても、両校 PTA 関係者や両校の運営協議会関係者、両校校長などで構成しております。

また、部会には部会長1名と副部会長複数名を置き、会議は部会長の議事により行います。部会長と副部会長については、学校統合委員会の山田会長、竹中副会長と相談し、部会長には幌別小学校学校運営協議会の藤江さん、副部会長には、幌別小学校 PTA 副会長の竹谷さん、幌別小学校学校運営協議会の古田さん、中央地区連合町内会の荒関さん、幌別東小学校 PTA 会長の齊藤さん、幌別東小学校学校運営協議会の鳴海さん、山田さん、幌別鉄南地区連合町内会の森さんにお引き受けいただくこととしましたのでよろしく願いいたします。

部会では、本日以降、概ね1カ月に1回のペースで会議を開催し、各テーマについて検討を行っていきますが、議論の進め方としては、各テーマに関し、まずは事務局より案を提示し、これについて部会の皆さんから意見をいただく形で進めて参ります。

それではさっそく協議事項に入りたいと思います。これ以降は、さきほどご紹介いたしました藤江部会長に議事をお願いいたします。

藤江部会長、お願いいたします。

○部会長

それでは会議次第に基づき進めさせていただきます。会議次第3は協議事項です。協議事項(1)「特色ある教育(幌別駒おどり)の継承について」ですが、この「幌別駒おどり」、幌別小学校関係者にとっては馴染みの深いものではありませんので、具体的な協議に入る前に、事務局と保存会メンバーより、「幌別駒おどり」の紹介をお願いしたいと思います。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明。事務局の説明に続き、保存会メンバーより具体的に説明)

○部会長 事務局と保存会メンバーより「幌別駒おどり」について説明してもらいました。説明にもあったとおり、幌別東小学校では、総合学習の時間に、郷土芸能である「幌別駒おどり」に取り組んできたということです。子どもたちにとっては、自分が住む地域への理解を深めるきっかけとなってきたほか、郷土芸能を継承していく一助にもなってきたということかと思います。学校統合にあたって、幌別東小学校における「幌別駒おどり」の取組をどのように取り扱っていくのか。これについては、総合学習に取り入れてきた幌別東小学校関係者、郷土芸能の継承に取り組んできた保存会メンバーの思いも関わってきますし、統合先である幌別小学校関係者の考えも重要になってきます。そこで、統合後の「幌別駒おどり」の取り扱いについて、教育委員会の考えも含め、事務局で資料を用意しているということですので、説明をお願いします。

○事務局 (事務局より資料に基づき説明)

○部会長 統合後の幌別小学校における「幌別駒おどり」の取り扱いについて、事務局より説明がありました。教育委員会の考え方としては、子どもたちの地域理解を深めるひとつの教材として、統合後の幌別小学校でも引き続き取り組んでいくことが望ましいのではないかという考えが示されました。ただ、それには、統合先である幌別小学校のカリキュラムの中で取り組むことが可能で、且つ引き続き保存会の協力を得られることが必要との話がありました。そこで各当事者にお話を伺いたいのですが、まずは統合先である幌別小学校にお伺いしますが、幌別小学校において、総合学習の時間などに「幌別駒おどり」に取り組むことは可能なのでしょうか？

○委員 統合までにはまだ間がありますが、教育委員会からもありましたとおり、幌別東小学校が地域とともに取り組んできたものでありますので、幌別小学校が

これを引き継ぐことは、地域とともにある学校を推進していく上でも意義のあることだと思っています。あくまでも構想であります。3年生、4年生は社会科で地域を対象にした学習を行いますので、それと関連させながら、総合的な学習の時間を用いて「駒おどり」を体験するというような事が考えられようかと思えます。とはいえ、学校同士は隣接しながらも、我々幌別小学校関係者にとっては、「幌別駒おどり」、決して馴染み深いものではありませんので、仮に幌別小学校で取り組むとなった場合には、保存会の皆さんのお力添えをお願いしたいと思います。

○部会長 委員より、地域の協力を前提に、特定学年の総合学習において、「幌別駒おどり」に取り組む事は可能とのお話がありました。続きまして、保存会の皆さんにお話を伺いたいと思えますが、仮に統合後の幌別小学校で総合学習の時間に「幌別駒おどり」に取り組むとした場合、幌別東小学校でと同じように、指導等で協力を得られるのか。そのあたりをお伺いしたいと思います。

○委員 東小学校では全校児童でやっていたのですが、仮に統合後の幌別小学校で取り組むとした場合、人数的に全校児童でやるのは難しいと思えます。さきほど校長先生からも話があったとおり、学年でやるのがいいのか、代表として選ばれた児童でやるのがいいのか、様々な考え方があろうかと思えます。もう一点、実は東小学校でもここ3年間、コロナの影響で取り組めておりませんので、東小学校の児童、特に低学年は実際にやったことがないという状況です。そうしたこともあって、仮に統合後の幌別小学校で取り組むとなれば、ある意味で仕切り直した形でスタートすることになるかもしれません。

○委員 幌別小学校でカリキュラムとして取り組むことは可能とのお話をいただきました。ありがとうございます。大変うれしく思います。「駒おどり」は、非常に単純な踊りなんですけれども、駒の数は15騎程度で、演奏でカスタネットや太鼓などを使います。校長先生からは、特定学年の総合学習でというお話がありました。例えば3年生全員で取り組むということであれば、十分対応可

能だと思えます。さきほど話がありましたけれども、保存会の年齢もかなり高齢になってきていますので、学校がひとつになるのを契機に、鉄南地区の保存会のメンバーと幌別小学校関係者が協力して取り組めば、「幌別駒おどり」の継続に繋がるのではないかと考えています。本日は、部会員として、中央地区連合町内会、札内・来馬地区連合町内会からもいらっしゃってますので、私の意見に関し感想をお聞きしたいと思います。

○委員 登別市内の郷土芸能としては、札内の獅子舞、鉦山の獅子舞、鷺別の獅子舞がありましたが、このうち札内と鉦山は途絶えてしまいました。鉦山については、荻田神社のお祭りで太鼓と笛吹きメロディーの一部引き継がれている状況です。鷺別の獅子舞は、現在も鷺別小学校で取り組まれております。対して「幌別駒おどり」ではありますが、これまでは幌別東小学校で取り組んできましたが、地域としては、統合によって途絶えてしまうことを大変懸念しております。幌別小学校でもカリキュラムの一環として取り組むことは可能との話をいただきましたので、何とか統合後も継続していければという気持ちを持っております。

○事務局 幌別東小学校区の関係者から、幌別小学校区の関係者の皆さん、中央区連合町内会の皆さんに対して、幌別小学校で取組を継続するにあたり、一緒にその活動を支えていくとはできないかとのお話がありました。本日は、中央地区連合町内会、札内・来馬地区連合町内会からもご出席いただいておりますので、今この場でできるできないということにはならないと思いますが、保存会メンバーからの投げかけに対する感想のようなものをお聞かせいただければと思いますがいかがでしょうか？

○委員 札内獅子舞については、札内小中学校閉校の際に、学校側から地区連合町内会に対して、地域で継続できないかとの投げかけがありましたが、これを地域のみで継続するのは難しいので、統合先である幌別小学校で継続できないものが教育委員会とも話しましたが、なかなかうまくいかず、途絶えてしまった経

緯があります。「幌別駒おどり」については、統合先の幌別小学校も受入の意向を示しているとのことで、大変いいことだと思います。地域と学校が協力して継承していただけたら素晴らしいことだと思います。

○委 員 東小学校の児童はともかく、例えば幌別小学校の児童にアンケートをとってみてはどうでしょうか。やはり実際に取り組むのは子どもたちなので。

○部 会 長 アンケートをとることは可能だと思いますが、やりたくないという意見が多かった場合には、それで終了してしまいます。そういう意味では、まずは議論を尽くした方がいいのではないかと思います。幌別小学校の父兄の立場から、いくつかお伺いしたいのですが、保存会のメンバーというのは、僕ら世代の方達もいらっしゃるのでしょうか。もうひとつは、総合学習の中で「幌別駒おどりを体験」という話がありましたが、保存会としては、体験的な位置付けでいいのか、郷土芸能の継承のため、しっかり取り組むことを望んでいるのか。この二点をお伺いしたいと思います。

○委 員 初めから伝承のためにしっかり取り組むというのは難しいと思っていますので、まずは総合学習の中で体験から始めていただければいいと思っています。

○部 会 長 学校に取組をお願いするというのは分かるのですが、学校の先生は転勤していきますので、やはり地域の皆さんのお力添えが必要だと思います。そうした意味でも、保存会の年齢構成をお尋ねしたのですが。

○委 員 学校の取組に地域が力添えをするということではなく、やはり主体は地域であり、その取組に対して、学校に協力してもらおうということだと思います。学校がカリキュラムの一環で取組、私たち保存会が踊りのステップ、笛の吹き方、太鼓のリズムを指導するという方法でやってきましたし、幌別小学校で取り組んでいただけるということであれば、同じようなやり方になろうかと思います。そして将来的には、統合後の幌別小学校で取り組む中で、鉄南地区の郷

土芸能ということではなく、幌別地区の郷土芸能になっていけば良いのかなと思っています。

○部会長 保存会のメンバーは何人位でどの位の世代なのでしょうか？

○委員 保存会のメンバーは6人程度で、高年齢化が進んでおります。ただ、鉄南地区連合町内会の皆さんが応援してくれますので、地域が一体となった雰囲気の中で活動しています。

○部会長 今後、例えば東小学校を卒業して、今も鉄南地区に住む方達に保存会のメンバーに加わってもらおうというようなことも考えていますか？

○委員 考えています。年寄りだけがやるんじゃなくて若い方にも入っていただきたいという思いはあります。ただ、若い方達は仕事や子育てでなかなか難しいところがありますので、これまでなかなか参加が進んでこなかった面はありますが、市民文化祭などの際には、PTAを中心に、送迎等で積極的に協力して下さっています。

○部会長 さきほど幌別小学校の子どもたちにアンケートを行ってはどうかという話がありました。子どもたちへのアンケートは可能なのでしょうか？

○委員 「幌別駒おどり」に取り組むとすれば、教育活動の中に取り入れることとなりますが、教育活動そのものは、学校が教務計画の中で責任を持って決めなければならないことですので、その内容について子どもたちにアンケートをとるといっては少し違うのかなと思います。また、子どもたちは「幌別駒おどり」と言ってもイメージすることが難しいと思いますので、アンケートをとること自体難しいのではないかと思います。

○委員 とともに活動したいというお話がありました。我々中央地区の人間が鉄南地

区の保存会の方達とともに「幌別駒おどり」を指導していくというのは、ゼロからのスタートになることを考えれば難しい部分があると思います。このため、統合までの間には3年間ありますので、コロナ禍がある程度おさまった段階で、発表会を見に行ったりといった活動を続けて、まずは「幌別駒おどり」に愛着を持ってもらうことが必要かと思います。

○委員 やはり幌別小学校区の皆さんにとっては、「幌別駒おどり」と言っても馴染みのあるものではありませんので、次回、駒おどりのビデオを見ていただいて、その後議論に入ってはどうかと思います。

○事務局 時間も経過しましたので、事務局の方で今までの話を若干整理させて頂くと、例えば特定学年の総合学習の中で地域を知るためのカリキュラムの一環として「駒おどり」を取り入れることは、地域の協力を前提に可能なのではないかというような話がありました。その上で、幌別鉄南地区連合町内会の関係者としては、校区がひとつとなりますので、将来的には中央地区の皆さんとともに学校をサポートしていければいいという希望は持ちつつも、仮に統合後の幌別小学校で「幌別駒おどり」に取り組むとすれば、まずは保存会が中心となって学校を支援していくということによろしいでしょうか？

○委員 まずは保存会が中心となって学校を支援していきます。

○事務局 その上で、まずは保存会が中心となって学校支援を行いながらも、将来的には、現幌別小学校区の地域の皆さんとともに学校の活動をサポートしていくのが理想的というお話があったんですけれども、これについては、お話がありましたように、すぐに保存会と同じレベルで指導等に関わるのは難しいのだと思います。このため、同じく話がありましたとおり、まずは幌別小学校区の関係者の皆さんに、「幌別駒おどり」をしっていただく活動を行っていくことが重要かと思います。

○委 員 保存会の皆さんとしては、幌別小学校区の関係者とともに取り組みたいという希望を持っていて、札内・来馬地区連合町内会の委員からは、札内小中学校統合時の話も交えながら、統合後の学校に引き継げる環境があるなら素晴らしいとの話がありました。また、地域の支援を前提に、カリキュラムの一環で取り組むことは可能との話がありました。これらの話を総合的に考えると、歴史ある郷土芸能でもありますし、統合までにはまだ3年ありますので、この間に、例えば幌別小学校の行事等で「幌別駒おどり」を披露する機会を作ってもらなどして、「幌別駒おどり」を知るための取組を続けていけばいいのではないかと思います。

○事 務 局 委員からは、地域の支援を前提に受け入れることは可能とのお話がありました。また、保存会のメンバーからは、まずは保存会が中心となってサポートするというお話がありました。その上で、中央地区連合町内会、札内・来馬地区連合町内会の委員からは、歴史ある郷土芸能なので継承保存していくことが望ましいとの話がありましたが、幌別小学校区の関係者にとっては、決して馴染み深いものではないので、まずは「幌別駒おどり」への理解を深めるための活動を続けていってはどうかとの話がありました。これらの話を踏まえまして、事務局において、今後の取組のあり方を整理し、次回8月の会議でお示したいと思いますが、部会長、いかがでしょうか？

○部 会 長 分かりました。次回までに事務局で本日の議論を整理していただきたいと思っています。

○委 員 ビデオがありますので、さきほども申し上げましたが、次回、「幌別駒おどり」のDVDを用意していただいて、部会員の皆さんに見ていただくのがよろしいかと思います。

○部 会 長 本日は特色ある教育「幌別駒おどり」について議論してきました。統合後の幌別小学校において、「幌別駒おどり」にどのように取り組んでいくのかにつ

いては、次回も引き続き議論することとなりましたが、次回の具体的なテーマに関し事務局より説明をお願いします。

○事務局 さきほどお話ししたように、幌別小学校、保存会、幌別小学校区の地域の皆さんのお話を整理し、次回会議で、「幌別駒おどり」に関する取組の考え方をお示ししたいと思います。また、「幌別駒おどり」のDVDを用意し、議論に先立ち、部会員の皆さんにご覧いただければと思います。加えて、会議の進行上、余裕があれば、「放課後子ども教室」の取扱いに関する議論にも進めればと思っています。

○部会長 事務局より、次回の内容などについて説明がありましたが、これに関し委員の皆さんから質問などはありませんでしょうか？

○委員 さきほど委員から、保護者の皆さんにも行事等の際には協力していただいているとの話がありましたが、あくまでも市民会館等での発表の際のことでありまして、授業での指導等にご協力いただいているわけではありませんので、誤解ならないようお願いいたします。

○部会長 その他ご意見ございますか？

○委員 事務局に申し上げたいのですが、「幌別駒おどり」について話し合うとわかっていただけですから、なぜはじめから「幌別駒おどり」のDVDを用意していただいのでしょうか。幌別小学校の関係者の皆さんはみたことがないでしょうし、東小学校の関係者も、コロナの影響で発表の機会等が無い中で見たことない方が多数いらっしゃると思います。こうしたことを考えれば、あらかじめDVDを用意しておくべきだったのではないかと思います。そうした配慮が少し足りないのではないのでしょうか。

○事務局 申し訳ありません。委員がおっしゃるようにはじめから映像資料を用意して

いれば、もう少し議論も円滑になったかもしれません。その点については、事務局としてお詫び申し上げます。次回 DVD を用意して皆様にご覧いただきたいと思っておりますので、ご理解いただきたいと思っております。

○委 員 昨年度の委員会の時から同じことが繰り返してきますので、何回も繰り返さいで欲しいなと思っております。

○事務局 同じことと言ってる意味がよく分かりません。我々としては、地区別検討委員会の時から細心の注意を払ってご説明してきたつもりだったんですけども、至らない所があったとすればお詫びするしかないかなと思っております。ご指摘を受けまして今後同じようなことが無いとうに対応して参りたいと思っております。

○部 会 長 最後に会議次第4の「その他」について、事務局より何かありますでしょうか？

○事務局 次回の部会については、8月9日火曜日、時間は本日同様18時から、場所についても本日同様、鉄南ふれあいセンターホールを予定しております。具体的な内容に関しては、後日、事務局より連絡させていただきます。

○部 会 長 その他委員の皆様より何かありますか。

○委 員 教員の配置についてなのですが、令和7年度の統合時に、東小学校の教員は、幌別小学校にどの程度引き続き配置されるのでしょうか。というのも、東小学校の子どもたちにとっては、まったく馴染みの無い学校に行くことになるわけで不安もひとしおかと思っております。そうした意味では、1年生から5年生までの担任が引き続き幌別小学校に配置されるのが望ましいと思うのですが。

○事務局 3年後の教員配置に関する話になりますので、どの程度の人数を引き続き幌別小学校に配置できるか、現時点ではっきりとしたことは申し上げられません

が、統合時には、幌別東小学校の児童が不安を抱くことのないよう、教員配置についても最大限の配慮を行いたいと思っております。

○部会長 他にありませんか。無いようですので、これで「第1回新校区検討部会」を終了します。皆さん、長時間にわたりありがとうございました。